

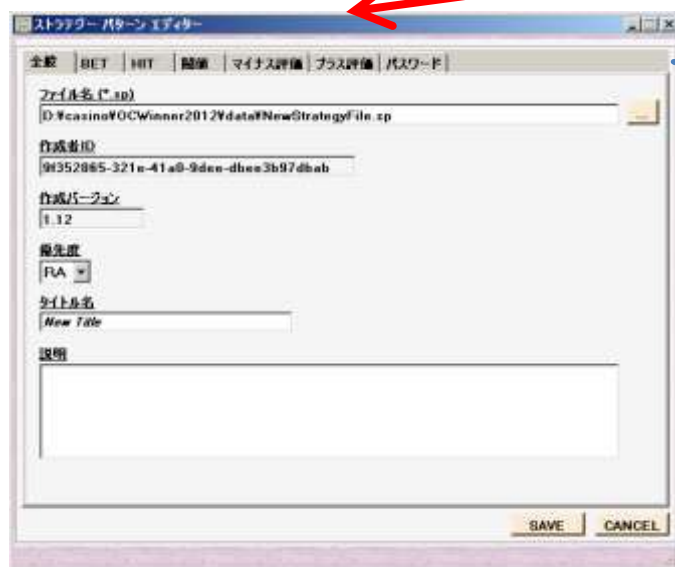
OCWinner2012 操作マニュアル(上級編)

上級者向けTIPS	・・・ 02
1. 新規ストラテジーパターンファイルを作成する	・・・ 02
2. 自分好みのスロット機種に合わせたストラテジーパターンを作成する	・・・ 12
3. 自作のストラテジーパターンファイルを公開(販売)する	・・・ 22

上級者向けTIPS

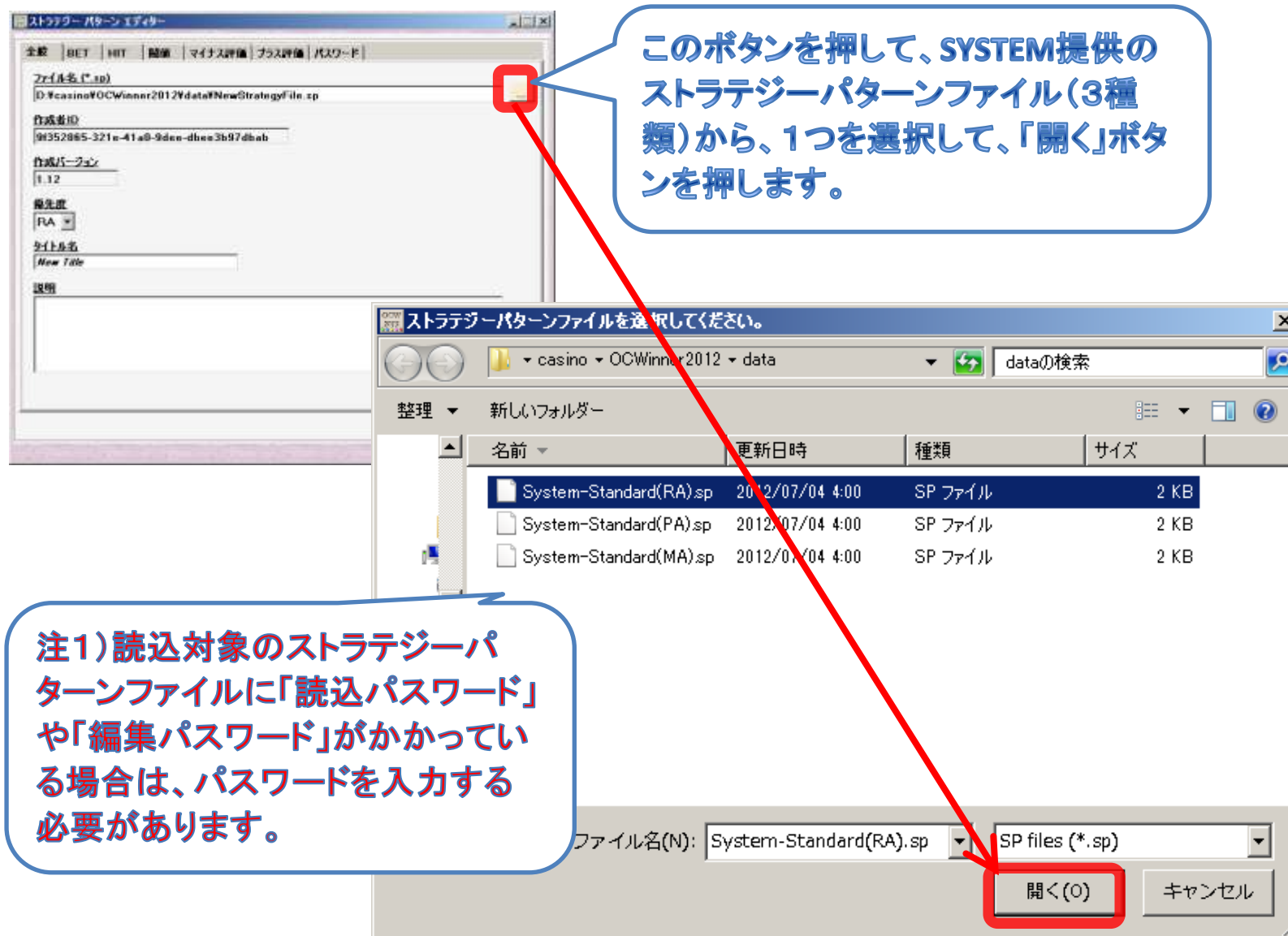
1. 新規ストラテジーパターンファイルを作成する

(1) SYSTEM提供のストラテジーパターンファイルをベースに
新規ストラテジーパターンファイルを作成する手順を説明します。



「編集」ボタンを押して、ストラテジーパターンエディターを起動します。

(2) 編集ベースとなるストラテジーパターンファイルを読み込む。



(3) 全般タブの項目を編集する。

The screenshot shows the 'Strategy Pattern Editor' dialog box with the 'General' (全般) tab selected. The dialog contains several input fields and a text area, each with a red border and a blue callout box explaining its function.

全般 | BET | HIT | 閾値 | マイナス評価 | プラス評価 | パスワード

ファイル名 (*.sp)
D:\casino\OCWinner2012\data\System-Standard(RA).sp

作成者ID
SYSTEM

作成バージョン
1.12

優先度
RA

タイトル名
STANDARD-RA.(1.01)

説明
This is a strategy pattern of system standards.
It is an algorithm which gives priority to risk reduction.

SAVE **CANCEL**

Callout 1 (File Name): 読み込んだファイル名が表示されます。
※自分で作成したストラテジーパターンファイル以外を読み込んだときは上書き保存できません。
この欄へ直接、新規ファイル名を入力してください。

Callout 2 (Creator ID): 作成者のIDと作成時のバージョンが表示されます。
作成者がUSERの場合は、IDが一部伏せて表示されます。

Callout 3 (Priority): 自分が作成したい判定方式の優先度を設定します。

Callout 4 (Title Name): 画面に表示されるタイトルを設定します。

Callout 5 (Description): このストラテジーファイルの説明文を記入します。
複数言語には未対応のため、日本語版用なら日本語で、英語版用なら英語で記入してください。

(4) BETタブの項目を編集する。

戦略パターンエディター

全般 BET HIT 関係 フィードバック オッズ設定 プロフィール

LINE
20
攻略対象のスロット機種のライン数を設定します。

BET
0.01 (RA < PA)
攻略対象のおすすめのBET数を設定します。

SPIN
10 (RA < PA)
攻略対象のおすすめの分析ターン1回分のSPIN数を設定します。

自動/手動の切り替え方法
Auto Start
スピンの自動/手動切り替え指示方式を選択します。

SAVE CANCEL

※なお、各パラメータの設定値の増減による分析優先度への影響は以下を目安としてください。

(RA > PA)	設定値が大きいほどリスク軽減を優先し、設定値が小さいほど利益拡大を優先します。
(RA < PA)	設定値が小さいほどリスク軽減を優先し、設定値が大きいほど利益拡大を優先します。

(5) HITタブの項目を編集する。

ストラテジー パターン エディター

全般 BET HIT 閾値 マイナス評価 プラス評価 パスワード

ボーナスゲームカウンタ
Enable
ボーナスゲームの説明
ボーナスゲームのHIT数。

フリーゲームカウンタ
Enable
フリーゲームの説明
フリーゲームのHIT数。

大当たりカウンタ
Enable
大当たりの説明
大当たりのHIT数。
賭け金の10倍以上が目安です。

SAVE CANCEL

ボーナスゲームカウンタ(BG)の「表示あり／なし」と、その説明文を設定します。
ボーナスゲームの存在しない機種は、Disableにしてください。

フリーゲームカウンタ(FG)の「表示あり／なし」と、その説明文を設定します。
フリーゲームの存在しない機種は、Disableにしてください。

大当たりカウンタ(Great)の「表示あり／なし」と、その説明文を設定します。
説明文には、Greatカウンタを増やすときの目安を記入します。

(6) 閾値タブの項目を編集する。

ストラテジー パターン エディター

全般 BET HIT 閾値 マイナス評価 プラス評価 パスワード

還元率ボーダーライン(%) 80 (RA > PA) 「浮き沈みの波」のボーダーラインを設定します。

「絶不調」判定の基準還元率(%) 55 (RA > PA) この数値より低い還元率が、「絶不調」判定の基準となります。

「不調」判定の基準還元率(%) 80 (RA > PA) この数値より低い還元率が、「不調」判定の基準となります。

「注意」判定の基準還元率(%) 95 (RA > PA) この数値より低い還元率が、「注意」判定の基準となります。

「好調」判定の基準還元率(%) 120 (RA > PA) この数値より低い還元率が「好調」、数値以上は「絶好調」判定の基準となります。

分析判定に必要な最低SPIN数 40 (RA < PA) このSPIN数のデータが得られるまで、勝ち逃げや潮時の分析は実行されません。

自動/手動 切り替え基準還元率(%) 80 (RA < PA) この数値以上の還元率では、スピンの自動/手動を切り替え判定を行いません。

SAVE CANCEL

「浮き沈みの波」とは、胴元が定めた還元率を基準に、一定周期でペイアウトが下降－上昇を繰り返すパターンを差します。
還元率の保障を公言しているオンラインカジノは、企業の信頼度や上場基準の重要項目となるため、この増減周期が必ず発生します。

(7) マイナス評価タブの項目を編集する。

平均賞金額の基準外発生確率のマイナス評価を重視させるなら1、評価させないなら0を設定します。

最近N回の平均還元率と、その他の要素(HIT数やスピンの数など)の相関関係をマイナス評価要因に加える場合は分析ターンの数値を、加えない場合は0を設定します。

最近N回の平均還元率のパターンと似たパターンを照合した結果でマイナス評価要因に加える場合は分析ターンの数値を、加えない場合は0を設定します。

最近N回の平均還元率をグループ単位でクロス集計して分析する場合は1つのグループのターン数を、分析させない場合は0を設定します。

ベスト還元率から一定比率で縮小するケースを分散してマイナス評価要因に加える場合は縮小率(%)の値を、加えない場合は0を設定します。

分析ターンのN回連続で下降しているパターンの傾向をマイナス評価要因にする場合はターン数を、行わない場合は0を設定します。

1HITあたりのSPIN数の許容値以下をマイナス評価要因にする場合はスピン数を、行わない場合は0を設定します。(SYSTEMのデフォルト値=0)

還元率、HIT発生率、スピン数から、「絶不調」基準が連続発生するパターンをマイナス評価要因に加える場合は連続発生ターン数を、加えない場合は0を設定します。

分析工程の主な流れは、最初に「閾値(しきい値)」の各基準値から評価基準点が導きだされ、次に、「マイナス評価」の分析結果の点数が減点され、最後に、「プラス評価」の分析結果の点数が加算されます。画面上の判定結果の表示は、全ての分析工程の結果をもとに推測された内容となります。

(8) プラス評価タブの項目を編集する。

ストラテジー パターン エディター

全般 BET HIT 閾値 マイナス評価 プラス評価

最近N回の還元率連続上昇パターン (ベイズ推定分析用)
2 (RA > PA)

連続N回の還元率上昇パターン (クラスター分析用)
4 (RA < PA)

賭け額N倍の当たり比率 (最尤法分析用)
40 (RA < PA)

分析ターンがN回連続で上昇しているパターンをプラス評価要因にする場合は数値(ターン数)を、行わない場合は0を設定します。
※「N回連続下降」の多次元尺度分析で分類された下降パターン以外のデータに対して、ベイズ推定分析を適用します。

連続上昇するパターンを複数カテゴライズして、「浮き沈みの波」上限基準に近いと判断する要因をプラス評価させる場合は数値(ターン数)を、評価させない場合は0を設定します。

賭け額のN倍のHITが発生したときに、「浮き沈みの波」の上限基準になるように評価させる場合は数値(倍率)を、評価させない場合は0を設定します。

SAVE CANCEL

(9) パスワードタブの項目を編集する。

戦略パターン エディター

全般 BET HIT 閾値 マイナス評価 プラス評価 パスワード

読み込みパスワード

読み込みパスワード (確認用)

編集権限パスワード

編集権限パスワード (確認用)

「選択」ボタンを押して戦略パターンファイルを読み込むときに、パスワード制限したい場合は、12文字以内でパスワードを設定します。
作成した戦略パターンファイルの販売や、特定の人だけに配布したいときなどに利用します。

戦略パターンファイルの「編集」をパスワード制限したい場合は、12文字以内でパスワードを設定します。
自分が作成した戦略パターンファイルのパラメータ値を公開したくないときに利用します。

編集内容がOKなら、「SAVE」ボタンで保存します。

SAVE CANCEL

(10) 各分析手法について

マイナス評価要因とプラス評価要因で利用している一般的分析手法がどのようなものの概要を以下に説明します。

※OCWinner2012では、「統計分析の知識がなくても誰でも簡単に利用できること」を目的としているため、分析手法の実装方法や応用方法に関する詳細説明は省かせて頂きます。

ロジスティック回帰分析	医療、社会、金融などの分野で活用されている分析手法です。 本システムでは、主に信用リスクの分析手法を応用して利用しています。
線形回帰分析	回帰分析手法の基本の1つです。様々な分野で利用されています。 IT分野では、広告効果測定などで応用されています。
判別分析	パターン認識システムなどで有効な分析手法の1つです。
コレスポンデンス分析	クロス集計値をもとにマッピングして分析する手法です。 企業イメージの評価や、経営分析などでも応用されています。
分散分析	品質管理に向いている分析手法です。 医療や農業をはじめとする、品質管理が重要な分野で応用されています。
多次元尺度分析	似ているものと似ていないものを分類する分析手法です。 市場動向調査や国政調査などで利用されています。
ブロックランダム化分析	臨床試験などで利用される分析手法です。
一元配置分散分析	3つ以上の平均値の差から1つの関係性を見つけ出す分析手法です。 EXCELのマクロでも簡単に組める、汎用的な分析手法です。
ベイズ推定分析	実測値から分析項目を推定する方法で、ベイズ統計学の主な分析手法です。 IT分野では、迷惑メールフィルターなどで利用されています。
クラスター分析	カテゴリーごとに分類して分析する手法です。 市場調査やマーケティングでの利用のほか、IT分野ではFEPの漢字変換候補や翻訳システムなどでも利用されています。
最尤法分析	特定パターンになる確率が高くなるようにデータ分布を決める基本的な手法です。 成分分析や、暗号解読のアルゴリズムなどで利用されています。

2. 自分好みのスロット機種に合わせたストラテジーパターンを作成する

SYSTEM提供のストラテジーパターンは、できるだけ機種依存しない汎用的な設定値で検証 & 調整されていますが、スロットの機種によっては、「浮き沈みの波」のパターンに大きな差異が発生するため、特定のスロットに限定した専用ストラテジーパターンを作成することで、分析(判定)精度をさらに高めることが可能です。

以下、特定の機種向けに各パラメータ値を調整する手順を解説します。

(1) SYSTEM提供のストラテジーパターンの「RA」または「PA」でプレイしたデータを集める。

- ①リスク軽減の分析精度を上げるためには、よりベストなポイントで「STOP判定」を出せる必要があります。
- ②利益拡大の分析精度を上げるためには、よりベストなポイントで「勝ち逃げ推奨ポイント」を出せる必要があります。

これらを判断するためには、まず標準のSYSTEM提供ストラテジーパターンをベースにして、「STOP判定」や「勝ち逃げ推奨ポイント」を無視してプレイ続行した時に「良い結果になったパターン」のデータが必要です。
このデータをできるだけたくさん集められるほど、より分析精度の高いストラテジーパターンファイルが作成可能となります。

とはいえ、時間やお金の都合もあると思いますので、
まずは無理のない範囲で、特定スロットのデータだけ集めてみてください。
※以降の説明は、GreatBlueという機種で実際に集めたデータを使って調整する例を説明していきます。

(2) パラメータ調整用に集めたデータをOCWinner2012で読み込んで還元率チャートを表示します。



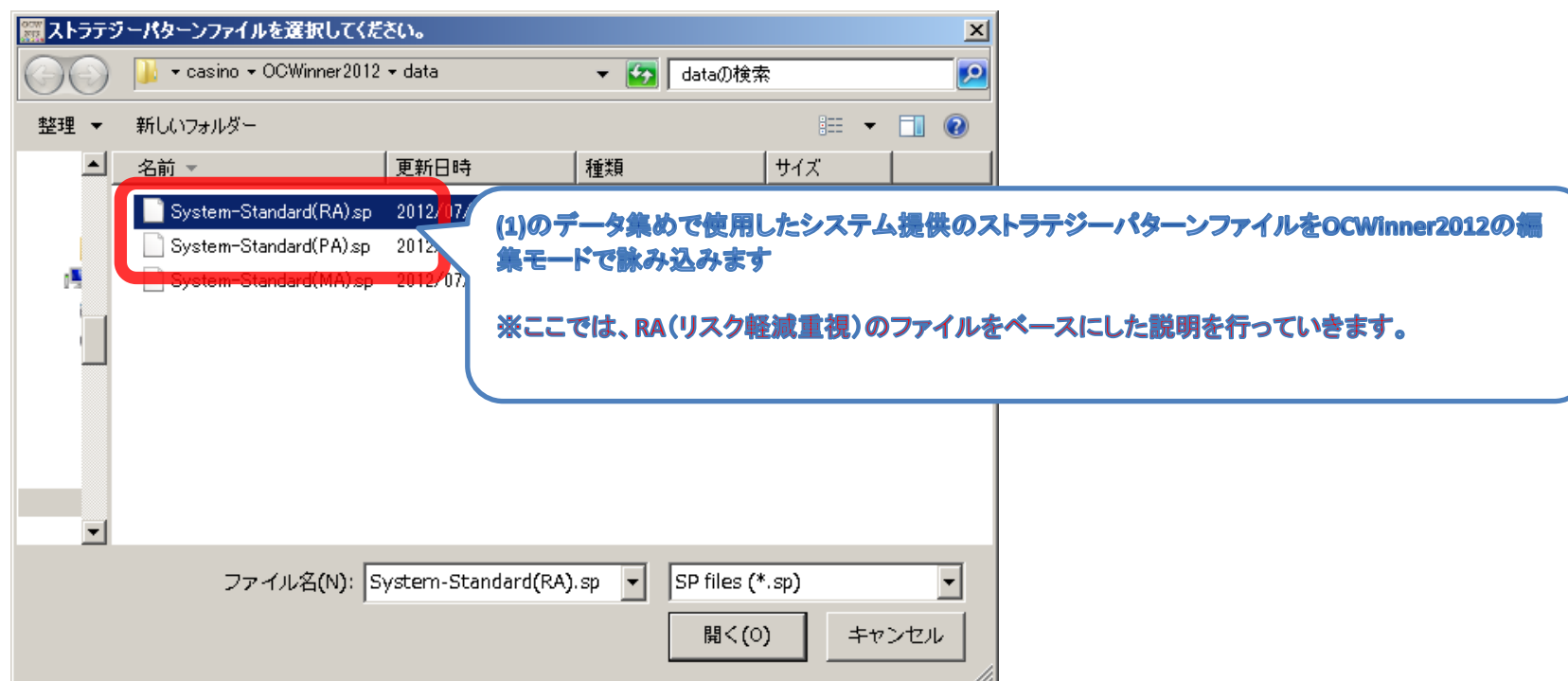
これはGreatBlueというスロットを、SYSTEM提供のRAパターンを使用し、\$0.25の賭け額で最終的に\$68.49プラスになった実測データです。少しわかりずらいかもしれませんが、RAパターンでは、最初の40～60スピンの3ターンで、すでに「STOP判定」が表示されています。次に、70回転(7ターン)目の判定で、初回大当たりがきて、すぐに「勝ち逃げ推奨ポイント」が表示されています。

ところが、その後の580回転と900回転ぐらいで大当たりを引き、利益が大きく拡大しています。500スピン以内の短時間プレイで終了する前提であれば、初回のSTOP判定は妥当なものと言えますが、1000スピン以上の長時間プレイを前提とする場合は、理想的な分析結果とは言えません。

つまり、このデータの判定結果が、「理想的な分析結果」になるためには、序盤はできるだけSTOP判定や勝ち逃げ判定を出さずに、580回転か900回転あたりで「勝ち逃げ推奨ポイント」が出せるとベストです。

そこで次のステップでは、このデータから「理想的な分析結果」が得られるように、ストラテジーパターンの各パラメータ値を調整していきます。

(3) 編集ベースとなるストラテジーパターンファイルを読み込む。



(4) 機種依存パラメータ値を中心に設定を変更する。(閾値タブ)

ストラテジー パターン エディター

全般 BET HIT 閾値 マイナ

還元率ボーダーライン(%)
71 (RA > PA)

「絶不調」判定の基準還元率(%)
50 (RA > PA)

「不調」判定の基準還元率(%)
71 (RA > PA)

「注意」判定の基準還元率(%)
90 (RA > PA)

「好調」判定の基準還元率(%)
115 (RA > PA)

分析判定に必要な最低SPIN数
90 (RA < PA)

自動/手動 切り替え基準還元率(%)
71 (RA < PA)

SAVE CANCEL

GreatBlueでは、「浮き沈みの波」の幅の下限が標準よりも9%ほど低いようなので、まずは、全ての分析の基本値となる「還元率ボーダーライン」を80→71までさげてみます。またこれにともない、好調／不調の基本値となる各パラメータも5～10%さげます。

GreatBlueでは初回HIT発生までのスピンの数が40では少なすぎるので、この値も40→90に変更してみます。

自動/手動切り替えも、還元率ボーダーライン値にあわせます。

「機種依存パラメータ値」とは、スロット機種ごとに理想的な設定値が異なる可能性の高いパラメータ値です。パラメータ説明のタイトル背景色が「黄色」で表示された項目がこれにあたります。

(5) 機種依存パラメータ値を中心に設定を変更する。(マイナス評価タブ)

ストラテジー パターン エディター

全般 BET HIT 閾値 マイナス評価 プラス評価 パスワード

平均賞金額の基準外発生カウンタ (ロジスティック回帰分析用)
1 (RA > PA)

最近N回の平均還元率A (線形回帰分析用)
2 (RA < PA)

最近N回の平均還元率B (判別分析用)
5 (RA < PA)

最近N回の平均還元率C (レスポンス分析用)
11 (RA < PA)

ベスト還元率の縮小率 (分散分析用)
17 (RA > PA)

最近N回の還元率連続下降 (多次元尺度分析用)
3 (RA < PA)

平均HIT SPIN数の許容値 (ブロックランダム化分析用)
60 (RA < PA)

最悪値連続発生数の許容値 (一元配置分散分析用)
5 (RA < PA)

HITの間隔が通常より広いようなので、クロス集計のグループ単位を少し増やしてみます。

還元率の上限一下限の幅が通常より狭いようなので、縮小率を半分にしてみます。

HITの間隔が通常より広いようなので、SPIN数の許容値も、6ターン分(60スピンの)で設定してみます。

「STOP判定」の主要分析要因である「絶不調」判定の許容を緩くする目的で、最悪値の連続発生数の許容も少し増やしてみます。

(6) 機種依存パラメータ値を中心に設定を変更する。(プラス評価タブ)

ストラテジー パターン エディター

全般 BET HIT 閾値 マイナス評価 プラス評価 パスワード

最近N回の還元率連続上昇パターン (ベイズ推定分析用)

2 (RA > PA)

連続N回の還元率上昇パターン (クラスター分析用)

5 (RA < PA)

賭け額N倍の大当たり比率 (最尤法分析用)

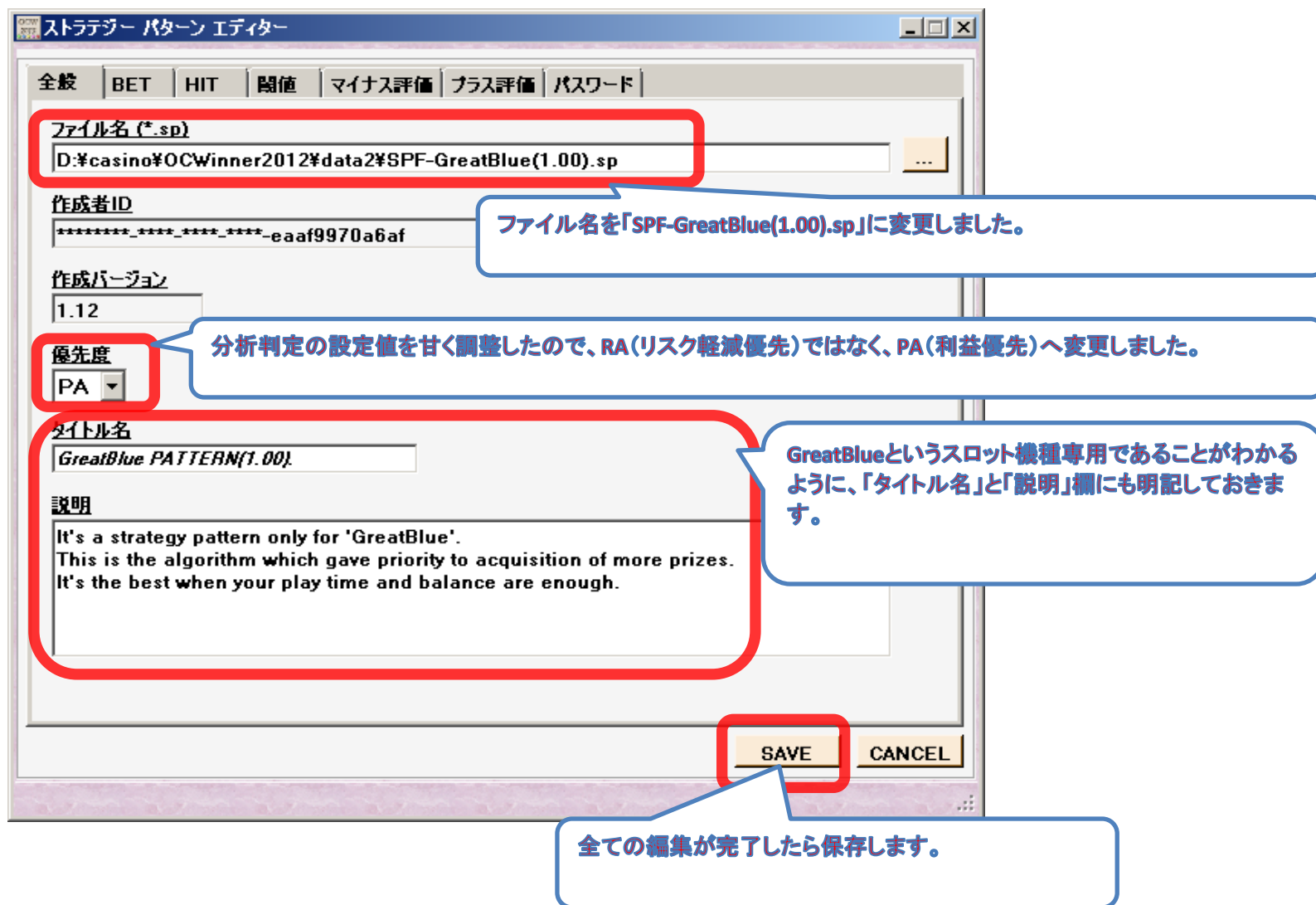
142 (RA < PA)

「浮き沈みの波」の上限が通常より高いようなので、その分析基準値となるこの数値を1つ増やしてみます。

取得したデータ上では、ベストの大当たり比率(最大賞金額÷賭け額)がかなり高いようなので、このパラメータ値にも設定してみます。

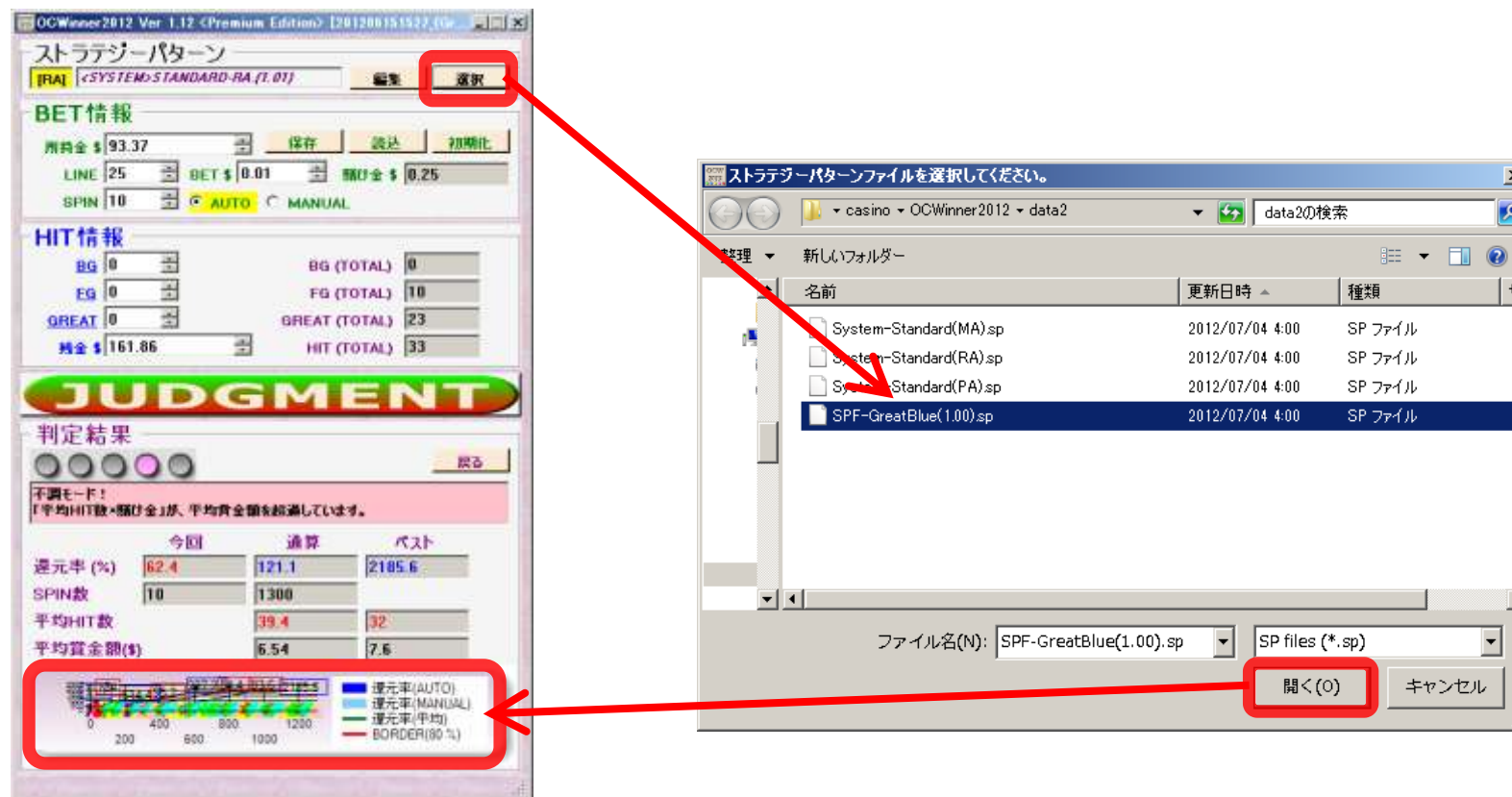
SAVE CANCEL

(7) パラメータ値を変更したら、ファイル名を変更して保存します。

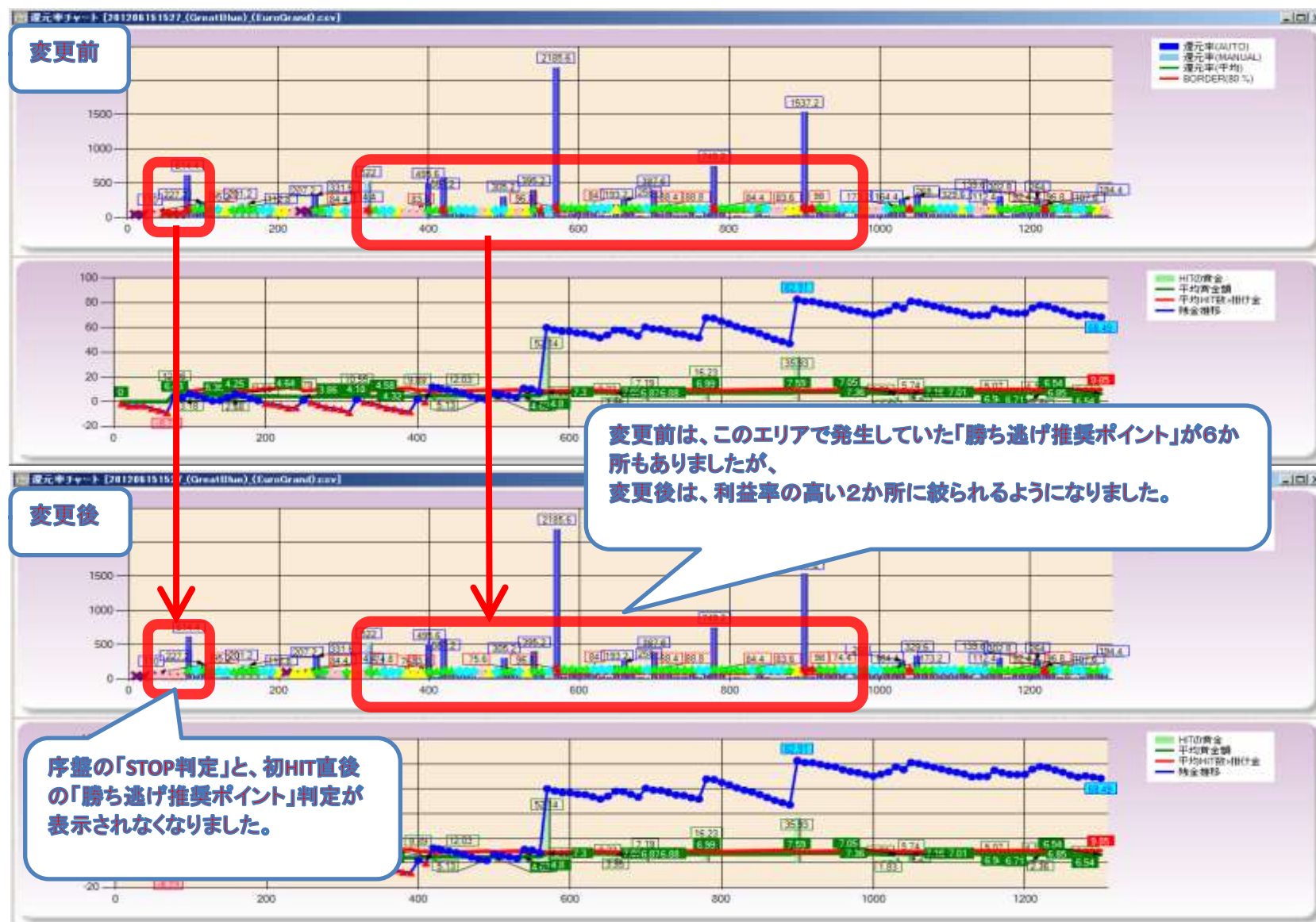


(8) さきほど作成した専用ストラテジーパターンファイルを「選択」ボタンで読み込んで、「還元率チャート」で再評価の結果を確認します。

※ストラテジーパターンを切り替えると、判定結果は自動的に再評価されます。



(9) パラメータ値の変更前と変更後の評価結果を比較します。



(10) 分析精度をさらにアップさせる。(データマイニング)

(1)～(9)のデーターマイニングを繰り返すほど、分析精度はアップしていきます。
ただし、統計分析というのは理想に近い判定結果に近づけることはできても、唯一の答えを見つけることはできません。

より高精度なストラテジーパターンを目指してチューニングし続けることも、プレイの楽しみの1つと考え、楽しくデーターマイニングして頂ければ幸いです。

3. 自作のストラテジーパターンファイルを公開(販売)する

スロット攻略のBLOGやメルマガ、Twitterなどを運営(配信)されている方であれば、より判定精度の高いストラテジーパターンファイルを公開することで、サイトのファンを増やすことが可能です。

また、サムライクリック やカジノサイトと直接提携されているゲーミングアフィリエイトサイトを運営されている方であれば、OCWinner2012の利用を通して、オンラインカジノサイトへの参加率UPにつなげることが可能です。
(ゲーミングアフィリエイトとは、一度の紹介で永久に報酬が得られるタイプのアフィリエイトです)

サムライクリック : <http://www.samuraiclick.com/>

また、ストラテジーパターンのチューニングには、判定結果を無視して投資し続けるという金銭的リスクが伴いますので、手間/暇をかけてデータマイニングしたストラテジーパターンファイルであれば、有料で公開する価値も十分あると思います。

ダウンロード販売のみであれば、Gumroad、Ameroadなどのデジタルコンテンツ簡易販売サイトを利用すれば、面倒な手続きなしで、誰でも簡単に販売URLの登録が可能です。

Gumroad : <https://gumroad.com/>

Ameroad : <http://ameroad.net/>

なお、ストラテジーパターンファイルを公開(販売)される場合は、転売防止のため、読み込みパスワードと編集パスワードを必ず設定することをお勧めいたします。